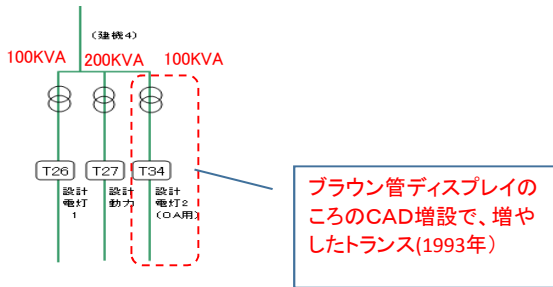



分類	省エネルギー活動 電気・油・ガス	<h1>環境活動事例</h1>				001	
適用	題目 キュービクルの更新(トランスの集約更新)による省エネ						
目的・概要	1981年に事務棟(通称設計ビル)を建設したが、その後CADの増設等の負荷増にはトランスの追加を行ったりしてしのいできた。2015にキュービクルの老朽化更新を機会に、CADディスプレイの液晶化や空調の更新などで、負荷が減っていたトランスの系統を見直し、容量を圧縮し更新したことにより、大幅な電力削減(約30%)ができた。						
改善内容	 <p style="color: red;">(建機4) 100KVA 200KVA 100KVA</p> <p style="color: red;">T26 T27 T34</p> <p style="color: red;">設計電灯1 設計動力 設計電灯2(COA用)</p> <p style="color: red; border: 1px solid red; padding: 2px;">ブラウン管ディスプレイの ころのCAD増設で、増や したトランス(1993年)</p>		<p>《改善後》</p>  <p style="color: red;">(建機4) 150KVA 150KVA</p> <p style="color: red;">T26 T27</p> <p style="color: red;">設計電灯1 設計動力</p>				
	<p>更新の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ①1981当初の電気式空調チラーから2006に 個別の空調機に更新して負荷が大幅に減っていた ②当時ブラウン管ディスプレイだったCADなどが増加したため追加したトランスは 液晶化したりして大幅に負荷が減っていた 		<p>更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ①電灯系統は100+100→150KVAにダウンサイズ ②動力系統は200KVA→150KVAにダウンサイズ <p>トランスはスーパーアモルファスタイプとし効率UP</p>				
改善効果	エネルギー種類	エネルギー使用量		エネルギー削減効果	費用削減効果	投資金額	投資回収年数
	電力	改善前 年間30万kwh	改善後 年間21万kwh	9万kwh	180万円/年	1200万円	-
評価	<p>【その他の効果】</p> <p>(取組実施初年度:)2月に更新したため更新初年度は効果が少なかったもので、前年度と翌年度で比較したが約30%の削減となった</p> <p>(取組実施翌年度)継続して効果が出ている。</p>						
備考							

電力消費量kwh	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度合計
2013年	20,018	21,630	23,116	31,825	30,313	28,285	24,866	21,028	23,880	28,145	26,336	24,889	304,331
2014年	21,416	20,532	25,050	31,795	26,908	26,313	22,996	19,273	25,387	26,422	21,018	19,775	286,885
2015年	15,675	14,987	17,971	22,648	20,668	18,333	14,769	13,937	14,890	19,686	19,215	18,035	210,814
2016年	14,185	14,247	17,442	22,764	22,675	20,888	15,416	13,297	14,963	18,832	18,935	17,333	210,977
2014/2013	106.98%	94.92%	108.37%	99.91%	88.77%	93.03%	92.48%	91.65%	106.31%	93.88%	79.81%	79.45%	94.27%
2015/2013	78.30%	69.29%	77.74%	71.16%	68.18%	64.82%	59.39%	66.28%	62.35%	69.94%	72.96%	72.46%	69.27%
2016/2013	70.86%	65.87%	75.45%	71.53%	74.80%	73.85%	62.00%	63.23%	62.66%	66.91%	71.90%	69.64%	69.32%

